

全国産業安全衛生大会

—ものづくりを支える安全衛生の向上を目指して—

12年ぶりの名古屋開催

特別講演は内山田竹志・トヨタ自動車(株)会長

中央労働災害防止協会（会長 さかきばらさだゆき 榊原定征・（一社）日本経済団体連合会会長）（注）は、本年 **10月28日（水）から30日（金）までの3日間**、愛知県体育館、名古屋国際会議場、ほか名古屋市内各会場で、「**第74回 全国産業安全衛生大会**」を開催します。

本年の大会は、功労者の表彰、企業の安全衛生管理についての改善事例や研究発表、専門家による講演等を行うとともに、昨平成 26 年の死亡災害、死傷災害、重大災害の発生件数がいずれも前年を上回り、極めて憂慮すべき事態となったことを受け、労働災害の増加に歯止めをかけ、犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにす大会と位置づけています。

併せて、本大会の会期中「りょくじゅうじてん **緑十字展2015 in 名古屋一働く人の安心づくりフェア**」を開催します。

（注）中央労働災害防止協会（以下 略称「中災防」）は、昭和 39 年に労働災害防止団体にに基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」、「最新安全衛生情報の提供」などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。



中央労働災害防止協会 教育推進部長 角元利彦

【照会・取材先】

中央労働災害防止協会 総務部 上席専門役 間宮直樹
（電話）03-3452-6542 （FAX）03-3452-9225
（E-mail） koho@jisha.or.jp

第 74 回 全国産業安全衛生大会

全国産業安全衛生大会は、昭和 7 年の第 1 回開催以来、産業現場での安全と健康の確保を誓う国内最大の安全衛生イベントで、今年で 74 回目を迎えます。

本年も、わが国の事業場の経営者、産業安全・労働衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフなどの働く職場の安全衛生に関わる関係者約 1 万 2 千人が地元愛知県をはじめ全国から参集し、3 日間の会期を通して産業現場での労働災害ゼロと健康の増進をめざします。

○ 第 1 日目 (10 月 28 日・水)

「愛知県体育館」における総合集会では、開会式（中災防会長式辞、厚生労働大臣、愛知県知事、名古屋市長の祝辞等）、表彰式が行われます。

引き続き、厚生労働省労働基準局から労働災害減少に向けた講演を、また内山田 竹志・トヨタ自動車株式会社取締役会長から、

『イノベーションが未来を拓く—プリウスの開発とミライの挑戦—』と題して特別講演をいただくこととしています。



○ 第 2、3 日目 (10 月 29 日・木、30 日・金)

労働災害防止や健康保持増進に関連するテーマごとに、名古屋国際会議場ほか名古屋市内の各会場で 11 の分科会（10 会場）に分かれ、事業場の安全衛生スタッフ等による研究発表や改善事例、有識者による専門的な講演、さらに今日的なテーマについてのパネルディスカッション・シンポジウムなど、合わせて 258 題の多彩な演題を準備しています。

本年は、日本の「ものづくり」の中核である地元名古屋より、「超電導リア、MRJ、MIRAI」などをキーワードに最先端技術や不断のイノベーションについての講演があります。

また、第 12 次労働災害防止計画の重点事項である「第三次産業と中小事業場」向けの分科会を新たに設けます。

りょくじゅうじてん

緑十字展 2015 in 名古屋

—働く人の安心づくりフェア—

(詳細は12頁参照)

全国産業安全衛生大会と3日間併催して、名古屋市中小企業振興会館において、働く人の安全と健康の確保に係る機械・機器、安全衛生保護具、職場環境関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野、震災対策分野、地球温暖化対策関連など、広範な分野に関する最新の機器、設備、情報を展示いたします。

産業安全・労働衛生に関する国内最大の展示会です。

本年は、地元東海地域(愛知・岐阜・三重・静岡)の各労働局・労働基準監督署で募集した事業場の労働安全衛生対策事例を紹介するとともに、工業高校等の学生を対象に、実際の労働災害事例や保護具の装着体験を通して安全衛生の基礎を解説するなどの新企画を盛り込みました。

また、会場内では展示会のほかに特別セミナーを企画し、職場の安全衛生、震災対策などの国民的課題についても取り上げます。

全国産業安全衛生大会の 特徴と聴きどころ

1 講演、職場改善事例、研究発表など最新の安全衛生情報 258 題を集約

日本のものづくりを支える「職場の安全衛生」の向上に焦点をしぼり、最新の安全衛生情報をそろえた大会です。そのうち、中部地方4県から61件の職場改善事例や研究発表が寄せられました。

2 「第三次産業」、「中小事業場」分科会を新設

第三次産業は平成26年に発生した全死傷災害の4割以上を占めていること、また規模100人未満の中小事業場で全体の約8割を占めており、これらの労働災害の防止は第12次労働災害防止計画の重点事項となっています。

3 日本の製造業の強さの中核は中部地方の「ものづくり」

(1) ハイブリッドカー・プリウスの開発を中心に創業以来のトヨタのイノベーションの歴史、トヨタウェイについての特別講演です。「10/28 総合集会」『イノベーションが未来を拓く—プリウスの開発とミライの挑戦—』

内山田 竹志：トヨタ自動車(株) 取締役会長

- (2) 国産ジェット旅客機MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の開発について、製作の経緯、市場環境、セールスポイントと競争力、将来の展望などの先進ものづくりについての講演です。「10/29 安全管理活動分科会(第1会場)」

『国産ジェット旅客機の開発について』

岸 信夫：三菱航空機㈱取締役副社長 執行役員

- (3) 超電導リニアによる中央新幹線は2027年を目標に、首都圏と中京圏間の営業運転を目指しています。東海道新幹線で培った技術をもとに実用化に向けた技術革新の概要が講演されます。「10/30 交通安全分科会」

『鉄道の高速度における技術革新とそれを支える日本の技術』

鳥居 昭彦：東海旅客鉄道㈱中央新幹線推進本部リニア開発本部担当部長

- (4) 最先端技術を集約した燃料電池自動車開発にいたる考え方と普及に向けた取組みについて、その魅力や開発の裏話の講演です。「10/30 安全管理活動分科会(第2会場)」

『燃料電池自動車「MIRAI」の開発およびその普及に向けて』

田中 義和：トヨタ自動車㈱製品企画本部 チーフエンジニア

4 特別公演・労働安全衛生劇

迫真の演技と弁護士解説で、労働災害、遺族自宅、監督署捜査会議、弁護士事務所、民事法廷を再現。労働災害が被害者だけでなく、経営者、同僚等に及ぼす悲しい波紋を伝えます。「10/29 安全管理活動分科会(第1会場)」

『ステージ上にトラッククレーンが！ 法廷が！』

全8幕 労働劇 波紋“ある工場の悲劇”』

庄司 俊哉：福岡宗也法律事務所 所長 弁護士（脚本・解説）

愛知各地区労働基準協会 職員・役員（出演）

5 本年12月から施行される「ストレスチェック制度」

労働安全衛生法の改正にともない、本年12月から「ストレスチェック」が義務化されます。制度の具体的な運用方法について解説されます。「10/29 メンタルヘルス／健康づくり分科会」

『改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について』

泉 陽子：厚生労働省労働基準局安全衛生部 労働衛生課長

全国産業安全衛生大会の詳細はWebで

<http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

中災防 大会 で 検索



中災防 のトップページからも閲覧いただけます。

全国産業安全衛生大会（平成 27 年 10 月 28～30 日） 11 の分科会と主なテーマ

- (1) リスクアセスメント／マネジメントシステム
労働安全衛生マネジメントシステムの導入による安全衛生活動の改善事例、企業におけるリスクアセスメント事例等
- (2) 安全管理活動
作業方法、作業手順等による安全対策をはじめとする安全管理活動事例等
- (3) 機械・設備等の安全
機械・設備に関するリスクアセスメント事例、機械・設備の安全対策事例
- (4) 安全衛生教育
企業内における安全衛生教育等の取組み事例等
- (5) ゼロ災運動（※1）
ゼロ災害全員参加運動による安全衛生活動事例、危険予知活動による安全衛生活動事例
- (6) 交通安全
職場の交通安全対策事例等
- (7) 労働衛生管理活動
職場の作業環境管理、作業管理及び健康管理に関する事例等
- (8) 化学物質管理
化学物質に関する安全衛生活動事例等
- (9) メンタルヘルス／健康づくり
職場のメンタルヘルス対策に関する事例、健康づくり活動に関する事例等
- (10) 第三次産業
第三次産業における安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等
- (11) 中小事業場
中小事業場の安全衛生活動や健康づくり活動に関する事例等

（※1）**ゼロ災運動**（ゼロ災害全員参加運動）とは、「働く人の立場に立って人間一人ひとりを大切に、ゼロ災害、ゼロ疾病を究極の目標に職場の危険や問題点を全員参加で解決し、安全と健康を先取りすることによって明るくいきいきとした職場風土づくりをめざす運動」です。

具体的には、職場の安全先取り活動である危険予知（KY）活動、指差し呼称、5S活動等を行うことによってヒューマンエラーによる事故を防止し、職場の安全水準を上げるための現場力の向上を図る運動として多くの職場で導入されています。

全国産業安全衛生大会（平成 27 年 10 月 28～30 日）
講演等の一覧（13 件）

No	期 日	分科会名	項 目	演 者	演 題	所 属・役 職
1	10 月 28 日 (水)	総合集会	特別講演	内山田 竹志	「イノベーションが未来を拓くープリウスの開発とミライの挑戦ー」	トヨタ自動車株式会社取締役会長
2			講演	厚生労働省労働基準局		
3	10 月 29 日 (木)	安全管理活動分科会(第 1 会場)	講演	岸 信夫	国産ジェット旅客機の開発について	三菱航空機株式会社取締役副社長執行役員
4		安全管理活動分科会(第 2 会場)	講演	田中 敏章	産業安全の現状と課題～第 12 次労働災害防止計画の取組等について～	厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長
5		安全管理活動分科会(第 3 会場)	講演	樋口 晴彦	企業不祥事ケーススタディ 2015 ～最近の不祥事例から学び取る教訓～	警察大学校 警察政策研究センター教授 博士(政策研究)
6		第三次産業分科会	講演	宗次 徳二	「私の日本ーカレーなる人生」	株式会社ライトアップカレーハウス COCO 一番屋 創業者
7		中小事業場分科会	講演	齋木 育夫	日本ー小さな航空会社の仕事と安全への取組み～職域を越えた協力と手作りのサービス～	天草エアライン株式会社専務取締役・運行統制本部長・安全統括管理者
8		安全衛生教育分科会	講演	小出 勲夫	全員参加型の安全衛生教育(安全に強い職場づくり)	株式会社 I K 安全サポート代表取締役
9		ゼロ災運動分科会	講演	高橋 嘉彦	「やらされ感」から現場力は生まれない	タカハシ総合企画室(マナスル登山隊南極越冬隊 元隊員)
10		メンタルヘルス/健康づくり分科会	講演	泉 陽子	労働安全衛生法改正法に基づくストレスチェック制度について	厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
11	10 月 30 日 (金)	リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会	講演	池田 直司	炭素繊維製造工程におけるリスクと防災管理について	東レ株式会社生産技術第 3 部 部長
12		安全管理活動分科会(第 2 会場)	講演	田中 義和	燃料電池自動車「MIRAI」の開発及びその普及に向け	トヨタ自動車株式会社製品企画本部チーフエンジニア
13		安全衛生教育分科会	講演	安全衛生教育講師	効果的な安全衛生教育のポイントとノウハウ	
14		交通安全分科会	講演	鳥居 昭彦	鉄道の高速化における技術革新とそれを支える日本の技術	東海旅客鉄道株式会社中央新幹線推進本部リニア開発本部 担当部長

全国産業安全衛生大会（平成 27 年 10 月 28～30 日）
中部地方の各県から提出される研究発表一覧（61 件）（1/3 愛知県）

No	県名	期日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
1	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第1会場)	トヨタ自動車(株)の安全文化づくりについて - 歩行災害防止活動の紹介 -	磯部 和幸	トヨタ自動車(株)安全健康推進部安全衛生室技術G・一般
2	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第1会場)	タブレット端末を用いた現場パトロール報告の効率化について	永井 英基	(株)トーエネック情報通信本部 モバイルエンジニアリング部 技術グループ
3	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第1会場)	『整理・整頓』モデル職場認定活動の取り組み紹介	近藤 雪乃	サンエイ(株)安全衛生推進部 担当
4	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第2会場)	名古屋西労働基準協会におけるヒューマンエラーによる業務災害防止の取組み	吉竹 彰	名古屋西労働基準協会 安全衛生実務研究会安全衛生実務研究会会長(東レ(株) 愛知工場 環境保安課)
5	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第2会場)	現場作業者の小集団活動(QSKY)活動による無災害職場への取り組み	西山 浩章	川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー 名古屋第一工場生産本部 名古屋工作部 名古屋三課 係長
6	愛知	10月29日	安全管理活動分科会 (第2会場)	外来工事の災害ゼロをめざした「こだわりの安全管理体制」づくり	中西 貴久	アイシン精機(株)安全衛生環境部安全衛生グループ 担当員
7	愛知	10月29日	第三次産業分科会	職員の腰痛等業務上疾病予防に関する健康支援～衛生委員会の試み～	佐野 哲也	社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚ホーム大府苑主任(理学療法)
8	愛知	10月29日	第三次産業分科会	熱中症予防に向けた警備員教育と巡察徹底の重要性	山本 智史	日本信託警備(株)管理室 総務課課長代理
9	愛知	10月29日	第三次産業分科会	安全・健康管理に関する社員の意識改革	長尾 浩之	中部相互警備保障(株)事業本部 管制課長
10	愛知	10月29日	第三次産業分科会	休職者の職場復帰プログラムについて	鈴木 健介	ユニー(株)業務サポート本部 人事部 シニアチーフマネジャー
11	愛知	10月29日	中小事業場分科会	KYTと5S活動を通じた労働災害防止と生産改善に関する取り組みについて	佐藤 信仁	兼工業(株)製造部 鑄造技術 係長
12	愛知	10月29日	安全衛生教育分科会	ヒューマンエラー災害防止の安全教育活動の工夫	近藤 和宏	豊和工業(株)技術部・部長
13	愛知	10月29日	安全衛生教育分科会	「中部RSTトレーナー研究会」の取組とRST・安全衛生担当者との全国的連携の提案	今井 敏	中部RSTトレーナー研究会中部RSTトレーナー研究会 副会長(名古屋通信工業(株)安全衛生管理部次長)
14	愛知	10月29日	安全衛生教育分科会	リスクアセスメントを幹とした職長教育	親 正幸	中部RSTトレーナー研究会
15	愛知	10月29日	労働衛生管理活動分科会	空調管統括部における熱中症予防の取り組みについて	加藤 法宏	(株)トーエネック営業本部 空調管統括部 技術グループ 副長
16	愛知	10月29日	労働衛生管理活動分科会	労働安全衛生法改正の付帯決議に関する岡崎歯科医師会の産業歯科保健活動	金山 敏治	岡崎歯科医師会成人歯科保健委員会 委員
17	愛知	10月29日	労働衛生管理活動分科会	従業員の生活習慣改善・知識意識向上による熱中症予防と発生時重症化防止	塚本 愉衣	旭硝子(株) 愛知工場健康管理センター 保健師
18	愛知	10月29日	労働衛生管理活動分科会	衛生管理者の視点で取り組む労働安全衛生活動～「チーム安城衛生管理者の会」～	渡辺 純	山崎製パン(株) 安城工場人事課
19	愛知	10月29日	労働衛生管理活動分科会	電車乗務員に対する睡眠時無呼吸症候群の対策について	鈴木 亜砂美	名古屋鉄道(株)人事部 労政担当保健師
20	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	メンタルヘルス不調者に対する客観的指標を用いた復職支援プログラムの導入	岡本 未奈子	住友理工(株)人事総務本部 人事部ヘルスケア室
21	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	臨床心理士を活用したメンタルヘルス対策と効果ー精神疾患による診断欠勤者の削減ー	三宅 美樹	トヨタ車体(株)健康推進センターメンタルヘルス推進グループ グループ長
22	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	トヨタ自動車における海外勤務者の健康管理活動について	小嶋 絢子	トヨタ自動車(株)安全健康推進部健康推進室 国内・海外支援G・保健師

全国産業安全衛生大会（平成 27 年 10 月 28～30 日）
中部地方の各県から提出される研究発表一覧（61 件）（2/3 愛知県）

No	県名	期日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
23	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	転倒予防を重点とした高齢者が安全に働ける職場づくり活動報告	神崎 友子	サンエイ(株)安全衛生推進部 保健師
24	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	職場主体のメンタルヘルス活動～職業性簡易ストレス調査票とMIRRORを活用して～	西田 智華	東邦ガス(株)人事部 安全・健康グループ 保健師
25	愛知	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	集団指導(健康教室)における取組～参加者300人から1500人への挑戦～	曾我 紀子	ブラザー工業(株)人事部安全防災グループ 健康管理センター
26	愛知	10月30日	リスクアセスメント/マシナリシム分科会	リスクアセスメントを継続的に取り組んでいく工夫	伊藤 俊司	豊和工業(株)技術部環境安全衛生課・安全担当
27	愛知	10月30日	リスクアセスメント/マシナリシム分科会	OHSASとISO9001の統合運用による労働安全衛生と品質の向上活動	渡辺 浩司	(株)メイエレクトリック内部統制室 部長
28	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第1会場)	タッチレス活動による手指災害のリスク低減	塩塚 俊章	JFE スチール(株) 知多製造所総務部 安全衛生室 主任部員
29	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第1会場)	女性の目線で改善したNC旋盤の重量金型取り扱い作業の安全化	大川 真希	愛知製鋼(株)鍛造工場 工機課 第1作業係 一般
30	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第1会場)	「自分の身は自分で守る」“安全の間”を活用した安全態度向上活動	梅田 達也	(株)デンソー 豊橋製作所熱製造3部 製造品質保証室 製造品質保証1課 品質2係 係長
31	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第2会場)	現場の困り事 MA改善で安全職場 危険の芽を摘出し 感性アップにつなげる	森 裕和	大同特殊鋼(株) 知多工場庄延第二室 小型係 安全専任者
32	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第2会場)	安全パトロール結果の見える化による安全意識の定着	深町 明生	(株)トーエネック 岡崎支店 豊橋北営業所岡崎支店 豊橋北営業所配電グループ グループ長
33	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第2会場)	実有効性のある自立的な防災活動から早期事業復旧の実現に向けて	中村 友樹	ソニーイーエムシーエス(株)人事総務部門 総務部 総務企画課
34	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第2会場)	会社トップを含む全員参加の「ローラー作戦」による重点災害撲滅活動	田村 和則	アイシン精機(株)安全衛生環境部 安全衛生グループ 安全衛生チーム 担当員
35	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第2会場)	誰でも短時間で作成可能 ビジュアル・マニュアルで、安全作業標準は新たなステージへ	東 央	大同特殊鋼(株) 星崎工場安全防災改革チーム
36	愛知	10月30日	安全管理活動分科会(第3会場)	ヒヤリ・ハット活動の浸透と活用による安全意識高揚の取組について	打田 利文	名古屋鉄道株式会社鉄道事業本部 安全統括部(技術研究担当) 主任補佐
37	愛知	10月30日	第三次産業分科会	病院職員の腰痛発生状況と朝礼時の体操への取組について	井澤 寿敬	医療法人社団喜峰会 東海記念病院リハビリテーション部 科長
38	愛知	10月30日	第三次産業分科会	安全巡視パトロールに見る実態と安全教育の必要性	加藤 久博	(一社) 愛知ガラス外装クリーニング協会安全対策委員長
39	愛知	10月30日	第三次産業分科会	安全衛生管理体制の更なる徹底に向けた取り組み	西長 志郎	イオンリテール(株) 東海・長野カンパニー人事総務部 人事グループ
40	愛知	10月30日	第三次産業分科会	警備員の契約先(事業場等)における心の健康づくりについて	渡邊 隆	中部相互警備保障(株)事業本部統括部長
41	愛知	10月30日	第三次産業分科会	窓口を運営する従業員の安全衛生の確保に向けた取組み	都築 康元	名鉄観光サービス(株)総務部長
42	愛知	10月30日	機械・設備等の安全分科会	安全・安心な1/N鍛造一貫ラインづくり 展開先でも絶対にケガをさせない	桑田 博文	(株)デンソー 西尾製作所部品エンジニアリング部 部品3課・担当係長
43	愛知	10月30日	機械・設備等の安全分科会	作業手順書の気づきから取り組んだ、大型減速機O/H作業(低頻度作業)の安全化	山脇 良介	愛知製鋼(株)設備技術部 鋼材設備課 機械第2保全係 一般
44	愛知	10月30日	機械・設備等の安全分科会	「クレーンの残留リスク通知情報」の作成モデルについて	前田 栄	(一社)日本クレーン協会 東海支部クレーン製造整備部会 部会長(富士ホイスト工業(株) 参与)

全国産業安全衛生大会（平成 27 年 10 月 28～30 日）
中部地方の各県から提出される研究発表一覧（61 件）
（3/3 愛知、三重、岐阜、静岡）

No	県名	期日	分科会	演 題	発表者	事業場・所属
45	愛知	10月30日	交通安全分科会	有責車両事故低減に向けた立哨活動報告～「おはよう」から「安全にかえる」まで～	松原 章	シーキューブ㈱ ICT事業本部安全品質部 課長
46	愛知	10月30日	交通安全分科会	当所の交通災害絶滅に向けた取り組み	神谷 裕明	㈱トーエネック 教育センター副所長
47	愛知	10月30日	交通安全分科会	事故防止のための新型ドラレコ・デジタコや点呼支援システムの導入について	菅田 亘	名鉄バス㈱管理部人事課 主任
48	愛知	10月30日	交通安全分科会	交通事故防止対策の取り組み	塚本 浩二	㈱トーエネック安全環境部 担当課長
49	愛知	10月30日	交通安全分科会	ドライブレコーダー映像を使用した「安全メールの輪」について	望月 誠	東邦ガス㈱供給管理部 安全・教育グループ 課長
50	愛知	10月30日	交通安全分科会	運転者の視点動作を活用した交通事故防止研究	寶満 晋作	東海旅客鉄道㈱ 東海鉄道事業本部 新城工務区新城工務区・施設技術係
51	愛知	10月30日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	トヨタグループにおける産業看護職の人材育成について	杉本 日出子	㈱ジェイテクト人事部人事室 健康推進グループ・主担当
52	愛知	10月30日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	当社における10年間のメンタルヘルス対策への取り組みについて	末永 美智子	中部電力㈱・本店人事部・安全・サービス・管理グループ(健康管理室)
53	三重	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	喫煙対策の現状報告と今後の課題	坂田 一予	㈱トーエネック 三重支店総務部業務グループ
54	三重	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	職場一体感の醸成を目指して全員参加で進める健康づくり～THP専門委員会活動紹介～	森田 理紗	㈱東芝セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場総務部 健康支援センター
55	岐阜	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	メンタル疾患による長期休業者への職場復帰支援事例	大池 千絵美	㈱トーエネック 岐阜支店総務部業務グループ
56	静岡	10月29日	安全管理活動分科会(第1会場)	「幸福の国」プータンにおける労働安全衛生の現状と課題	金井 厚雄	金井厚雄労働安全コンサルタント事務所
57	静岡	10月29日	安全管理活動分科会(第2会場)	労働安全衛生マネジメントシステムの導入について	大石 昌道	日本軽金属㈱ 蒲原製造所 蒲原熱交製品工場製造課 製造係・係長
58	静岡	10月29日	安全衛生教育分科会	ヒヤリハットに着目した声掛け活性化による労災撲滅に向けた研究	梅原 宏太	東海旅客鉄道㈱ 新幹線鉄道事業本部 三島保線所三島保線所・施設技術係
59	静岡	10月29日	メンタルヘルス/健康づくり分科会	Hondaにおけるストレスチェックを用いた職場環境改善活動	山内 恵里加	本田技研工業㈱ トランスミッション製造部健康管理センター
60	静岡	10月30日	安全管理活動分科会(第3会場)	キャリパ新検修場の最適な作業環境の構築	三輪 泰朗	東海旅客鉄道㈱ 新幹線鉄道事業本部 浜松工場浜松工場鉄工職場・車両係
61	静岡	10月30日	安全衛生教育分科会	重大災害を想定した救命救急訓練～一人でも尊い命を救うために～	入井 大祐	日本貨物鉄道㈱ 東海支社静岡総合鉄道部・助役

パネルディスカッション・シンポジウム（6件）

(1) 10月29日（木）リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会

ISO45001 関係パネルディスカッション

テーマ：ISO45001 の日本における展開

【パネリスト】

明治大学名誉教授 工学博士／明治大学校友会会長	向殿 政男
(株)テクノファ取締役会長	平林 良人
新日鐵住金(株)安全推進部 部長	朱宮 徹
トヨタ自動車(株)安全健康推進部長	小澤 謙二
(司会) 中央労働災害防止協会技術支援部 次長 ISO／PC283 日本代表エキスパート	斉藤 信吾

(2) 10月29日（木）労働衛生管理活動分科会

パネルディスカッション

テーマ：今、衛生管理者に求められる役割

【パネリスト】

椎野労働衛生コンサルタント事務所 所長	椎野 恭司
新日鐵住金(株) 名古屋製鐵所 安全環境防災部 安全健康室 主幹	瀧口 好三
(株)デンソー 高棚製作所安全環境課 課長	占部 吉影
(助言者) ミドリ安全(株) 顧問	安部 健
(司会) HOYA(株) HOYAグループOSH推進室 環境・安全衛生統括マネージャー	神津 進

(3) 10月30日（金）安全管理活動分科会（第1会場）

パネルディスカッション

テーマ：海外進出時における安全衛生活動の進め方

【パネリスト】

トヨタ紡織(株)安全衛生環境部 安全衛生推進室 総合企画Gグループ長	奥 孝一
日本コカ・コーラ(株)技術・サプライチェーン本部 品質・労働安全衛生・環境ガバナンス労働安全衛生 ・環境サステナビリティ マネージャー	近藤 葵
(一社) 日本化学工業協会 環境安全部兼レスポンスブルケア 推進部 部長	山本 卓
(司会) 中央労働災害防止協会 国際センター所長	奥村 英輝

(4) 10月30日(金) 機械・設備等の安全分科会

パネルディスカッション

テーマ:「止めない文化」から「止める安全」、さらに「止まる機械」と「止めない工夫」

【パネリスト】

コマツ産機(株)事業企画部主査 製品安全マスタ	畑 幸男
長岡技術科学大学 システム安全専攻 准教授	芳司 俊郎
中央労働災害防止協会 マネジメントシステム審査センター 専門役 (元・旭硝子(株)CSR室 リスクマネジメント統括グループプロフェッショナル)	高岡 弘幸
(司会) 中央労働災害防止協会技術支援部 技術指導課長・安全管理士	青木 泰

(5) 10月30日(金) 化学物質管理分科会

シンポジウム

テーマ: 化学物質のリスクアセスメントの義務化に対応して

【基調報告】

「化学物質の個人ばく露測定ガイドラインについて」

日本産業衛生学会産業衛生技術部会 個人ばく露測定に関する委員会委員長
(国立大学法人東京工業大学大学マネジメントセンター特任教授)

橋本 晴男

【シンポジスト】

(一社) 日本石油工業協会化学品管理部長	近藤 元好
東燃ゼネラル石油(株)環境・安全・衛生統括部 産業衛生部長	仲原 浩彦
三井化学(株)本社健康管理室長 統括産業医	土肥 誠太郎
国立大学法人大阪大学 教授 安全衛生管理部 副部長	山本 仁
(助言者) 厚生労働省労働基準局安全衛生部 化学物質対策課長	森戸 和美
(司会) 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長	山田 憲一

(6) 10月30日(金) メンタルヘルス/健康づくり分科会

パネルディスカッション

テーマ: 健康づくりは企業の成長を促す

【パネリスト】

(株)フジクラ人事・総務部健康経営推進室 副室長	浅野 健一郎
三菱電機健康保険組合 事務局長	大森 義文
ライオン(株)人事部 健康サポート室 主任保健師	瀬戸 美才
(司会) 特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長	岡田 邦夫

りよくじゅうじてん

緑十字展 2015 in 名古屋

— 働く人の安心づくりフェア —

1 緑十字展 2015 の概要

緑十字展は、昭和43年（1968年）10月、東京都港区の産業安全会館において開催した安全衛生保護具の展示会がその起源で、本年度で48回目を迎えます。労働安全衛生に関する国内最大の展示会です。

本年の緑十字展には約100の企業や機関・団体からの出展を予定しています。

- ① 安全衛生分野の保護具・機器、機械の本質安全化に係る機器
- ② 職場環境改善関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野の機械・器具
- ③ 防災・震災対策分野、省エネ対策関連など広範な分野の機器、設備など、各社の最新かつ多数の商品・情報を展示

会場内では、出展者（企業・機関・団体等）による一般展示のほか特別展示や特別セミナーなどを企画し、労働安全衛生を中心に、震災対策、交通安全対策のような今日の国民的課題も取り上げる予定です。

また、特別企画として、安全衛生保護具の正しい装着などの体験を通して安全衛生保護具の有効性を再認識していただける『安全衛生保護具体験道場』の開設を企画しています。

開催期間中、全国産業安全衛生大会の参加者をはじめ、企業関係者など約1万5千人の来場を予定しています。

入場は無料です。

2 特別企画・特別セミナー等について

1 概要

出展者による一般展示の他に、来場者が実際に体験することができる特別企画コーナーを設けます。

また、特別セミナーとして初日・2日目に安全衛生セミナーおよび震災対策セミナーを開催するとともに、会期中、グルメ・物産コーナーを設けることとしています。

2 特別企画コーナー

(1) 安全衛生保護具体験道場

日本労働災害防止推進会の指導のもと、保護具等を実際に装着しながら、保護具の正しい知識や装着方法を学ぶことができます。

(2) 特別展示『南海トラフ巨大地震に備える』

内閣府公表の南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた、これからの防災・減災を考える展示を行います。

(3) 東海地域の労働安全衛生対策事例紹介

東海地域（愛知・岐阜・三重・静岡）の各労働局・労働基準監督署で募集した事業場の労働安全衛生対策事例を愛知労働局ブースで紹介します。

3 特別セミナー（予定）

(1) 安全衛生保護具セミナー

① 一般事業場の関係者対象

保護具の選び方、正しい装着方法などについて解説します。

② 工業高校等の学生対象

実際の労働災害事例や保護具の装着体験を通して、安全衛生の基本を解説します。

(2) 震災対策セミナー

震災対策や防災士の役割・重要性についての講演を予定しています。

4 グルメ・物産コーナー

ご当地グルメが味わえるグルメコーナーや、名産品などの販売を行うコーナーを設けます。

5 開会式のイベント

名古屋市消防音楽隊による演奏を行います。

6 シャトルバスの運行

会期中、緑十字展会場である名古屋市中小企業振興会館と全国産業安全衛生大会の総合集会場（愛知県体育館）、分科会場の名古屋国際会議場（予定）等を結ぶシャトルバスを運行します。